

# シンポジウムプログラム

2019年1月10日(木)

9:55～10:00

はじめに 実行委員長挨拶

横井 毅 (名古屋大学大学院医学系研究科)

## シンポジウム1：ヒトiPS細胞を用いた医薬品毒性評価系の展開

座長：水口 裕之 (阪大院薬、医薬健栄研、阪大MEIセ)

横井 毅 (名古屋大学大学院医学系研究科)

10:00～10:30 (発表25分、質疑応答5分)

S1-1 ヒトiPS細胞を用いた *in vitro* 医薬品毒性予測システム:消化管と血液毒性

松永 民秀 (名古屋市立大学大学院薬学研究科)

10:30～11:00 (発表25分、質疑応答5分)

S1-2 ヒト初代培養肝細胞との差別化を目指したヒトiPS細胞由来肝細胞の開発  
と毒性評価系への応用

水口 裕之 (阪大院薬、医薬健栄研、阪大MEIセ)

11:00～11:30 (発表25分、質疑応答5分)

S1-3 ヒトiPS細胞由来細胞を用いた *in vitro* 評価系の応用性と今後の展望

篠澤 忠紘 (武田薬品工業株式会社)

\*\*\*\*\* 11:30～12:45 昼食 (各自、75分) \*\*\*\*\*

シンポジウム2:

## 動物モデルによる医薬品毒性機序研究とヒトへの外挿

座長：香月 康宏 (鳥取大学・染色体工学研究センター)

柿木 基治 (エーザイ株式会社)

12:45～13:15（発表 25 分、質疑応答 5 分）

**S2-1 ヒト肝臓キメラマウスを用いた抗体医薬品の肝毒性機序解析**

仁平 開人（協和発酵キリン株式会社 安全性研究所）

13:15～13:45（発表 25 分、質疑応答 5 分）

**S2-2 ヒト肝細胞キメラマウス(PXB マウス<sup>®</sup>)、およびキメラマウス由来  
新鮮ヒト肝細胞(PXB-cells<sup>®</sup>)の肝毒性予測系としての利用**

立野（向谷）知世（株式会社フェニックスバイオ）

13:45～14:15（発表 25 分、質疑応答 5 分）

**S2-3 人工染色体技術を用いた創薬研究への応用**

香月 康宏（鳥取大学・染色体工学研究センター）

\*\*\*\*\* 14:15～14:35 休憩（20 分）\*\*\*\*\*

**シンポジウム 3: ここまで進化した *in silico* 医薬品毒性予測システム**

座長：頭金 正博（名古屋市立大学大学院薬学研究科）

広瀬 明彦（国立医薬品食品研究所）

14:35～15:05（発表 25 分、質疑応答 5 分）

**S3-1 毒性データベースを用いた *in silico* 安全性予測**

安部 賀央里（名古屋市立大学大学院薬学研究科医薬品安全性評価学分野）

15:05～15:35（発表 25 分、質疑応答 5 分）

**S3-2 薬物動態・毒性予測のための統合解析プラットフォーム**

水口 賢司（国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所）

15:35～16:05（発表 25 分、質疑応答 5 分）

**S3-3 シミュレーションと AI を組み合わせた ADMET 予測と構造提案への展開**

本間 光貴（理化学研究所 生命機能科学研究センター）

16:05～17:00（発表 2 分、質疑応答なし）

フラッシュトーク（ポスター発表者全員）

進行役：織田 進吾（名古屋大学 大学院医学系研究科）

17:00～17:50 ポスター討議（於：1F ポスター会場）

17:50～ 全員懇親会（於：1F ポスター会場）

## 2019 年 1 月 11 日(金)

### シンポジウム 4：医薬品毒性予測手法の現況と展望

座長：藤本 和則（第一三共株式会社 安全性研究所）

片木 淳（小野薬品工業株式会社 安全性研究所）

9:30～10:00（発表 25 分、質疑応答 5 分）

S4-1 リアルタイム発光測定による細胞機能解析と毒性評価への応用

中島 芳浩（産業技術総合研究所 健康工学研究部門）

10:00～10:30（発表 25 分、質疑応答 5 分）

S4-2 *In vitro* 系を用いたヒトへの外挿性検討と毒性メカニズム解析の事例紹介と  
その課題

藤本 和則（第一三共株式会社 安全性研究所）

10:30～11:00（発表 25 分、質疑応答 5 分）

S4-3 クリニカルホールドを受ける前に前臨床試験すべきこと：

ヒトへの外挿性を検討した事例紹介

福井 英夫（Axcelead Drug Discovery Partners, Inc. 非臨床安全性研究）

\*\*\*\*\* 11:00～11:20 休憩（20 分）\*\*\*\*\*

## シンポジウム 5 : 薬物代謝・動態から医薬品毒性を考える

座長 : 佐能 正剛 (広島大学大学院 医歯薬保健学研究科)

織田 進吾 (名古屋大学大学院 医学系研究科)

11:20~11:50 (発表 25 分、質疑応答 5 分)

### S5-1 医薬品毒性に対する non-P450 代謝の寄与

深見 達基 (金沢大学医薬保健研究域薬学系)

11:50~12:20 (発表 25 分、質疑応答 5 分)

### S5-2 薬物性肝障害の発症とミトコンドリア毒性 : 機序の理解とスクリーニング系構築への応用

伊藤 晃成 (千葉大大学院薬学研究院)

12:20~12:50 (発表 25 分、質疑応答 5 分)

### S5-3 CAR 依存的肝発がんの種差における分子基盤

吉成 浩一 (静岡県立大学 薬学部 衛生分子毒性学分野)

\*\*\*\*\* 12:50~14:00 昼食 (各自、70 分) \*\*\*\*\*

## シンポジウム 6 : 免疫関連因子から医薬品毒性を考える

座長 : 筈田 泰誠 (理化学研究所 生命医科学研究センター)

平塚 真弘 (東北大学大学院 薬学研究科)

14:00~14:30 (発表 25 分、質疑応答 5 分)

### S6-1 HLA ノックインマウスの作製と医薬品毒性評価への応用の可能性

原田 直幹 (大鵬薬品工業株式会社 研究本部)

14:30~15:00 (発表 25 分、質疑応答 5 分)

### S6-2 HLA トランスジェニックマウスを用いた薬物過敏症のメカニズム研究

青木 重樹 (千葉大大学院薬学研究院)

15:00～15:30（発表 25 分、質疑応答 5 分）

**S6-3 重症薬疹の発症と関連する HLA 型とその発症機序における役割**

中村 亮介（国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部）

15:30～16:00（発表 25 分、質疑応答 5 分）

**S6-4 OECD AOP プログラム及び免疫毒性 AOP 開発の現状と将来**

大石 巧（日本免疫毒性学会試験法委員会 AOP 検討小委員会  
株式会社ボゾリサーチセンター 御殿場研究所）

16:00～16:10 優秀発表賞 表彰式

16:10～16:15 おわりに

横井 毅（名古屋大学大学院医学系研究科）